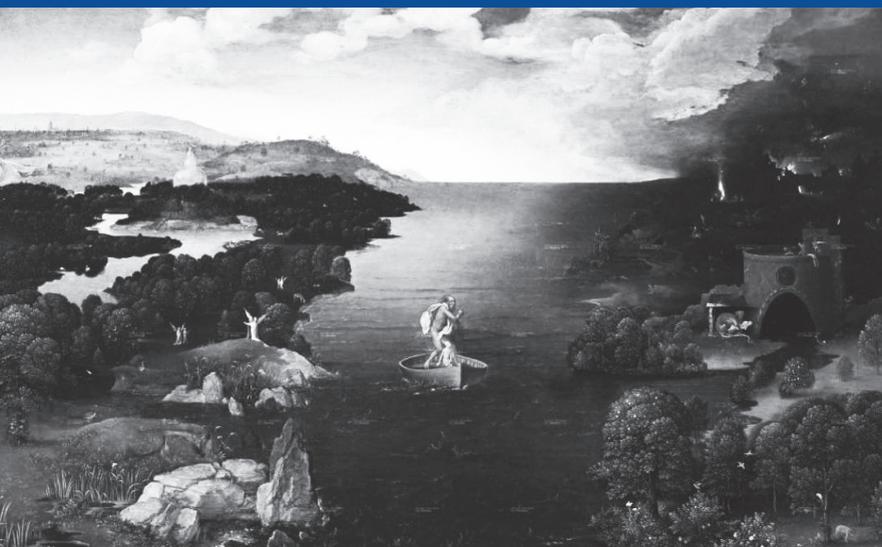


2016年12月刊行開始!

Pascal Quignard collection

パスカル・キニャール・コレクション

全15巻



水声社

刊行にあたって

パスカル・キニャール(1948-)は、あのボルヘスの作品以上に、哲学者ゼノンが若かりし頃に受けたという神託を想起させる。「死者の色に染まれ」——とは、死者たちがこの世に遺した作品をとおして彼らと交流し、忘却の淵に打ち棄てられてもなお、沸々とした情熱を宿し続ける過去の芸術家や作品を救い出し、それらに第二の生を与えることを意味する。死者=影たちに一時の仮宿を与えることを生業とするキニャールの文学は、彼らの中に枯れることなく溢れつづける光を得て、みずからもまた輝きを放ち始める。死者の色とは、この永遠の輝きにほかならない。

キニャールという一現代人の感性をとおして、古代ローマ時代の弁論家たちは小説の主人公へと生まれ変わる。清少納言は、『枕草子』のモデルであったとされる中国の李商隠の面影を宿したローマの女性貴族へと変身し、^{パトリキ}帝国末期の激動のさなかひとり静かに日常の目録を記録しつづける。琵琶の名手を主題とする能の演目『蟬丸』は、その着想源である『今昔物語』における源博雅朝臣の説話と合流し、フランス、バロック音楽の名手サント=コロンブとその弟子マラン・マレとの物語へと

Pascal Quignard collection

転写される。かつて存在を与えられた者たちは、キニャール作品の中で輪廻し、瑞々しい姿で私たちの目の前に戻ってくるのである。

「新しいものはますます古く、古いものはますます新しい」という信条のもと、^{オリジナル}独創的であるよりも^{オリジン}起源の近くにとどまろうとするパスカル・キニャールは、時間に対する挑戦こそが文学の本来の姿であることを再認識させてくれる。「死を思え」ではなく^{メメント・モリ}死者を想う——それは、文学という営為を古代から支えてきた人間の想像力の源泉そのものでもある。

また、死者を想う行為を介して、読者は現実空間を離れ、書物の中へ没入する。そのとき、現実でもなく、その此方でも彼方でもない不可思議な空間が立ち現れ、そこでは国境も検閲も^{イデオロギー}観念形態もいつの間にか消失し、目眩く個人の自由が行使される。読書とはおそらく、現代社会の中で私たちが得ることのできる最高の贅沢のひとつなのだ。本を読むためのほんのわずかなスペース、その私だけの場所は、キニャールが最後の王国と呼ぶ、もっとも深淵な場所でもある。

小川美登里・桑田光平・博多かおる



Pascal Quignard collection

パスカル・キニャール

1948年、ノルマンディー地方ユール県に生まれる。父方は代々オルガン奏者の家系で、母方は文法学者の家系。レヴィナスのもとで哲学を学び、ガリマール社に勤務したのち、作家業のみに専心。古代と現代を縦横無尽に往来し、時空を超えたエクリチュールへ読者を誘う作品を精力的に発表しつづけている。

- 作家のライフワークである『最後の王国』シリーズの、現時点でのすべての巻を収録。
- 卓越したストーリーテラーでもあるキニャールによる小説作品(本邦初訳)に加えて、同じく芸術全体にも造詣の深い作者による音楽論、舞踏論、絵画論など、作家の全貌に迫るラインナップ。
- 第一線で活躍する研究者による、最新の研究をふまえた翻訳。

- ◆46 判上製／各巻 250-520 頁／予価 2500 ～ 4800 円
- ◆2016 年 12 月に 2 冊同時刊行、以降、隔月ごとに 1 冊ずつ刊行予定

音楽の憎しみ

●博多かおる訳

●小川美登里訳

音楽はそれを誰より愛したものにさえ、憎むべきものになる——死や苦しみと切り離せない音楽、視覚のように遮ることもできず強制的に人を服従させるリズム。見ることに先立つ聴覚を捉え直し、言語と音楽の関係を探りながら「群れを率いる音楽」の恐怖の源をたどる音楽論。

はじまりの夜

●大池惣太郎訳

イメージとはなにか。人は誰しも、彼が生まれた場面にはいない存在である。この不在の場面が人間にとっての起源であり、人は不在の場面を生涯追い求め続ける。欲望がイメージを生み、幻想的な場面を創造する。夜の画家たちによって生み出された作品たちと、それらをめぐる考察。

ダンスの起源

●桑田光平／堀切克洋

●パトリック・ドゥヴォス訳

2014年に亡くなった日本の現代舞踏家カルロッタ池田との邂逅から始まる本書において、キニャールは話すこと（生きること）を拒んだ自身の幼年時代を振りかえりながら、物言わぬ身体による絶えざる再生としてのダンスについて語る。

最後の王国シリーズ

●小川美登里／桑田光平訳

●小川美登里訳

涙

●博多かおる訳

楽園の面影

●博多かおる訳

猥雑なもの

●桑田光平訳

申込書

●最寄りの書店に本状をお持ちの上、ご注文ください。

音楽の憎しみ	冊
謎 キニャール短編集	冊
はじまりの夜	冊
約束のない絆	冊
ダンスの起源	冊
涙	冊
最後の王国シリーズ	
さまよえる影たち〈1〉	冊
いにしえの光〈2〉	冊
深淵〈3〉	冊
楽園の面影〈4〉	冊
猥雑なもの〈5〉	冊
静かな小舟〈6〉	冊
落馬する人々〈7〉	冊
秘められた生〈8〉	冊
死に会おう想い〈9〉	冊
全巻セット	セット
書店[番線]印(書店記入欄)	お名前
	ご住所・電話番号

- ▶**いにしえの光／約束のない絆**…………… 2016年12月刊行

水声社

●東京都文京区小石川 2-10-1 ☎03-3818-6040

[[]* 翻訳著作権交渉中のものも含みます。